

17. みょうが

・殺菌剤(参考農薬)

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
-	キルパー	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	は種又は定植の15日前まで	1回	みょうが(茎葉)
					みょうが(花穂)
M5	ダコニール1000	散布	みょうが(花穂)の収穫14日前まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	4回以内	みょうが(茎葉)
11+4	ユニフォーム粒剤	土壌表面散布	みょうが(花穂)の収穫30日前まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	2回以内	みょうが(茎葉)
		土壌表面散布	収穫30日前まで		みょうが(花穂)

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける(「薬剤抵抗性管理」参照)。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

病害虫名 (F:菌類病、B:細菌病、V:ウイルス病、O:その他の病原体)

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
根茎腐敗病 (F)	は種又は定植の15日前	1. 無病種茎を用いる。 [参考農薬] 1. 耕起整地後、10a当りキルパーの原液60ℓをほ場全面に散布する。直ちに混和した後、ポリエチレンフィルム等で被覆する。	1. ほ場が過湿になり過ぎないように注意する。
	生育期間	[参考農薬] 1. ユニフォーム粒剤を10a当り18kg土壌表面散布する。	
葉枯病 (F)	生育期間	[参考農薬] 1. ダコニール1000の1,000倍液を散布する。	1. 窒素過多になり過ぎないように注意する。